

一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により
通告します。

平成 28 年 5 月 30 日

議席番号 21 番

東村山市議会議長

質問者 駒崎 高行

番号	質問の項目と要旨
	<p>1. 周辺市連携の充実による行政力の向上を</p> <p>多摩北部広域行政圏など周辺市との連携は行われているが、市境に住む各市の市民へのサービス向上や、職員交流による行政力の向上のために可能なことをより積極的に進めていく必要を感じる。またスケールメリットによる利点を如何に生かしていくのか、将来的な考え方を含めて伺う。</p> <p>(1) 市は市民の意見を聞くことは勿論だが、市境に住む他市の市民の声、東村山市に対する意見を重視すべきと考える。逆に東村山市民で市境に住む方の他市への意見を、市が責任をもって届けていくことも必要と考える。この双方向のやり取りの現状を伺う。</p> <p>(2) 境を接する 2 つまたは 3 つの市が協議できる新たな仕組みを作ることにしても必要と考える。まずは、東村山市が積極的に、できる事から始める事が重要と思うが如何か。この点では、市が市民に応える、市民への責任を果たすことは勿論だが、それを近視眼的にばかり見てはならない、長期的展望を持って結果的に市がよくなることを望むものだが、市長の見解を伺いたい。</p> <p>(3) 職員の育成、交流について 東村山市の常識は他市では非常識かもしれない。大きな考え方や日常的な仕事上の小さな工夫などに関して、新しい違った考えを導入していくことが市政発展、市民サービスの向上のために刺激となることは間違いないと考えるので伺う。</p> <p>① 東京都への納税関係の職員派遣の効果は如何だったか。</p> <p>② 教育委員会では数年単位で受入がある。異動直後の違和感や改善できると思う点などの意見を、市として建設的に活かしていくこと、敢えて言えば、市として封殺しない、個人としては忘却しないことを望む。具体的に市長、教育長が汲み上げることはできないか。</p> <p>③ 上以外での職員の派遣、受入の実績は如何か。また他市との職員の派遣と受入をおこなうことはできないか。</p> <p>④ 保育士に関して、異動先が少ないことでの士気の低下を懸念している。他市、民営などとの交流を将来的なものとして提案するがいかがか。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>⑤ 他市に住む職員も増加している。他市に住む職員はもしかしたらその市ではサイレントマジョリティかもしれない。居住市に対しても一歩踏み込んで見て住民としての居住市の評価をしてもらい、その上で東村山市の改善案をだしてもらいなど考えられるが如何か。</p> <p>⑥ 交流に関して考え方は同じであるが、市内事業者への民間企業派遣を小規模、短期間であっても実施すべきと思うが如何か。</p> <p>(4) 交通不便地域の多くは市境にある。デマンド交通の実現には市を越えて、その地域を面として捉える必要があると考えるが如何か。</p> <p>(5) 防災に関しても、現在の捉え方より進める必要を感じる。広報、訓練、防災無線、避難所運営などより隣接市市民を含めることの見直しを求めるが如何か。その結果として東村山市の市境市民もより隣接市から受ける益が多くなると考える。</p> <p>(6) スケールメリットと将来構想について</p> <p>① 教育行政、ごみ処理に関するスケールメリットは大きいと思われる。対象市民が多くなることで効率的な市政運営、結果として市民サービス向上に繋がるものとして客観的に市が考えられる業務は何か伺いたい。</p> <p>② 周辺市では平成の大合併の名の元に行われた市町村合併はあまり行われなかった。なぜ地方では進んだのか。財政の逼迫度によると思わざるを得ないが、どのように分析しているか。</p> <p>③ 西武線沿線の市として将来的には現在の多摩北部広域行政圏に含まれない東大和市などを含めたより大きな行政をどう考えるか。</p> <p>④ 合併により政令指定都市となることを目指すことの意味をどう見ているか。</p>
	<p>2. 児童発達支援センターについて</p> <p>0歳から18歳までの支援を一貫して行うこども相談室を評価し期待している。また発達支援については、幼児室ポッポなど各団体のご努力に感謝するものです。その上で、隣接する所沢市には、市立の児童発達支援センターとして松原学園があり、それとの比較から市の児童発達支援が充足しているかどうかを伺いたい。</p> <p>(1) 定員、充足数について伺う。定員については、当市と所沢市の未就学児童数との対比もお願いしたい。</p> <p>(2) 松原学園の施設の評価をお願いしたい。</p> <p>(3) 松原学園には市職員の保育士が配属され、異動によりその経験が各保育園へフィードバックされる。これを評価するものだが、見解を伺う。</p> <p>(4) 市の児童発達支援の課題はないか。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>3. 複雑、危険な交差点の安全対策について</p> <p>市内に多くある危険と目される交差点であるが、歩車分離や東村山第1号踏切り内の交差点改良など進めていること、ポールを立てることなど一定の対処をおこなっていただいていることは承知している。また過去の答弁でも通学路を優先的におこないたいことなど考え方も理解できる。だが、客観的に危険度を評価してそれを公表し優先的に対処していくこと、また公表することで、市民や運転者に注意を促す効果も期待できることから新たな取り組みを求めて以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 交差点危険度の評価方法はいくつかあるようだが、その前提として、市では交差点を一意に識別できるのか。データマッピングなどおこなうべきと思うが如何か。 (2) 危険度については、過去の事故数、重大事故発生、交通量、通学路かどうか、多交差など複雑さなどを考慮すべきと思われる。現状で市にはこのような蓄積はあるか。 (3) 危険度のHPでの公表や例えば「東村山市危険度No.1交差点」などと現地に表示することを提案するがいかがか。これにより、地権者、周辺住民を含めて対策が進むのではないかと考えるが。 (4) 五差路以上の複雑な交差点について、市の現状把握と認識を伺う。具体的な数、具体例も伺いたい。 (5) 事故が多発する交差点、更に信号もない交差点については、事故の原因特定のために監視カメラの設置を願いたいが如何か。 (6) 具体的には都道129号の出水橋付近の交差点については、現在都道であり広範囲にカラー舗装をするなど、都が安全に対して注力しているが、都市開発道路3.4.5の供応により、市道に付け替えられると思われる。特に監視カメラの設置を願いたいが如何か。 (7) 恩多辻、万年橋など複雑な形状の交差点についても今以上の安全対策を求めて対応を伺いたい。